

「ピレモンへの手紙から学ぶ②－パウロの愛と配慮－」

ピレモンへの手紙 8～25節

2021.10.24

1. ピレモンについて

① ピレモンは信仰と愛とに富んでいた。(5節)

② ピレモンの働き(7節 他)

「聖徒たちの心が、兄弟よ、あなたによってかづけられたからです。」

refresh 元気にする、生気を与える

☞ アナパウオー

マタイ 11:28「休ませる」

Ⅱコリント 7:13「安らぎを与える」

a. 聖徒たちを励ます(弱っている心をふるい立たせる)(7)

b. 徳を高める(霊的成長を促す)(7)

c. 愛と善行を勧める(5、6、7)

d. 共に集まる(交わり)(2、6)

e. 互いに仕え合う(20)

f. 謙遜と柔和(自分を低くし、相手を思いやる心)(21)

g. 寛容を示す(相手を赦す心)(16、17)

i. 霊的一致を保つ(1、2)

2. オネシモ「役に立つ者」の意

① ピレモンの奴隷(11、16)

② パウロと出会い回心する(10)

③ 忠実なクリスチャンとして成長(11、13)

コロサイ 4:9 ピレモン 12

④ 主人であるピレモンの元へ(12、16、17)

コロサイ 4:7～9

A. 逃亡奴隷

a. 主人は逃亡奴隷を死刑にする権限を持っていた。

b. 逃亡奴隷をかくまうことも、当時の社会制度に反すること。

(旧約時代) 創 16:6 Iサムエル 25:10

B. 奴隷 ☞ デューロス

a. 個人的自由や権利を持たない

b. 自分の主人の支配と指示に完全に無条件に服従する者

c. 主人の所有物(主人の財産)

売買・貸与・交換・相続ができた

3. パウロの愛(15節～19節)

① 15節

「離された」受身 → このことを為されたのは神

・オネシモの逃亡も神の計画

創 50:15～21(ヨセフに起こった事)

「しばらくの間」 } 神の計画

「永久に」 } 一時的損失 → 永久的獲得へ

② 16節

a. 15節の「取り戻す」の内容

以前 主人 — 奴隷

今 愛する兄弟として

③ 17節(17～19節がこの手紙の中心)

パウロ — ピレモン

「親しい友」 ☞ コイノーノス「信仰の同志」の意味

ピレモン — オネシモ

「親しい友」として、オネシモを迎えて欲しい

☆カルヴァンの注解

「もし人が、神がその子どもたちの集まりに加えてくださった兄弟を仲間として恥じるなら、それは高ぶりのしるしである」

④ 18節～19節

パウロは、オネシモの負債を自分が支払う。と言う。

a. イエス・キリストの十字架

私たちの負債（罪）を全て負って下さり、私たちの身代わりとなって十字架にかかれた。

イザヤ 53：4～6

ルカ 23：34

I コリント 15：3～4

ローマ 3：24、5：8

I ペテロ 2：24

ヘブル 9：28

☆愛の本質

I コリント 13：4～8
：13

b. 19節「この手紙は私の自筆です」

→「負債の債務を負っているパウロが署名します」の意味

4. パウロの配慮（8～10、14、20、21）

① 8節～10節

a. パウロは初代教会の第一人者

b. ピレモンに対する配慮

命令ではなく、ピレモンの感情・思いによく配慮し、ピレモンがオネシモを奴隷としてではなく、愛する兄弟として受け入れる様に懇願する。

9節 「 _____ 」

10節 「 _____ 」

② 14節

a. オネシモの所有権は主人であるピレモンにある

b. 「喜んで～する」という信仰の自発性、自主性によって愛の実践によって、オネシモを受け入れて欲しい

I ヨハネ 3：16～18

” 4：20～21

③ 20、21節

20節「私の心をキリストにあって、元気づけてください」

21節「従順を確信して」

ここでパウロはピレモンが主に従う様に、オネシモに関してパウロの行為を受け入れてくれることを心から信じている。

5. 考えてみましょう

① 主のために働くことを「喜び」としているだろうか？

② 兄弟姉妹のために労することを「喜び」としているだろうか？

③ 自己中心の思いではなく、相手のことを気づかっているだろうか？

④ 「あなたは信仰の人ですか、また愛の人ですか」と聞かれたら何と答えますか？

「NO」ならば、何が欠けていると思いますか？